



Weekly Report 2024-2025



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

会長：江島繁夫 / 幹事：岩本達也 / 副会長：島谷隆 / 会長エレクト：鈴木雅博 / 副幹事：堀井実 / S.A.A: 中井博

今週のプログラム	第2613回	10月11日
夏見良宏ガバナー公式訪問		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2612回	10月4日
米山奨学生卓話 張 巧潔 さん		
担当者	米山記念奨学委員会	例会場 JRホテルクレメント高松



江島会長挨拶

・皆さんこんばんは
今日は小豆島ロータリークラブより米山奨学生 張 巧潔さんに来ていただいております
後ほどよろしくお願いいいたします
さて今日は10月4日ですが1957年10月4日当時ソビエト連邦が世界初の人工衛星スプートニク1号を打ち上げました
この打ち上げの成功はアメリカに衝撃を与えソ連との宇宙開発競争につながっていきました
人工衛星は2024年4月時点で約9000基が運用されており2022年だけで2368基が打ち上げられたそうです
また1969年の今日「8時だよ全員集合」が放送開始されました
子供に見せたくない番組だったと思いますが、私はよく見ていたように思います
みなさんはどうでしたか
あと皆さんに報告があります
先ほど臨時理事会にてアクションプランチャンピオンに村上会員を選任してご承認いただきました
村上会員よろしくお願いいいたします
以上ご報告です

さて来週10月11日はガバナー公式訪問です
多数の出席をお願いします
出席時にはロータリーバッジをつけてクラブジャケット着用をお願いします
今日もよろしくお願いいいたします

岩本幹事報告

- 回覧 ・高松ロータリークラブ・高松北ロータリークラブ活動計画書
- ・川いのちのリレー財団報告
- ・ガバナー月信10月号

ビジター

- 岩国西RC 川本 利幸 様
- 小豆島RC 丹生 兼弘 様 米山奨学生 張 巧潔 さん

メイクアップ

- 9月30日 高松北RC 住谷 田中 木村
- 10月3日 高松グリーンRC 藤田

10月11日 今日は何の日	今日生まれの有名人
世界動物の日 / 都市景観の日 / 陶器の日 1942年 国鉄の列車などの時刻の呼び方が24時間制に 2023年 将棋の藤井聡太が史上初の八冠達成	1988年 泉里香 1980年 秦基博 1974年 ケイン・コスギ
誕生花 「コリウス」花言葉は「かなわぬ恋・善良な家風・健康」	1967年 秋川雅史 1955年 麻丘めぐみ 1954年 高畑淳子
誕生石 「ロードライトガーネット」宝石言葉は「勝利・友愛・不変の愛」	

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー




ニコニコBOX

今日は奨学生張さんをお呼びいただき 小豆島RC 丹生様
ありがとうございます。

水曜会取り切り戦優勝しました。 鏡原

妻の誕生日プレゼントありがとうございました 中井
村上さんありがとうございました。

誕生日プレゼントありがとうございます。 池上

遅刻・早退 1件

合計 5 件

本 日 の 合 計 21,000 円

2024-2025 年 度 累 計 377,000 円

出席報告

出席委員長：川口英樹

会 員 数 / 39 名 出席規準数 / 37 名

出席者数 / 27 名 欠席者数 / 10 名

出席率 / 72.97% ビジター / 2 名

最終出席率 / 9 月 13 日 51.43% → 71.43%

2024-2025 年度 10 月定例理事会

日 時 2024年10月4日

場 所 JRホテルクレメント高松：例会場

出席者 江島、磯崎、鈴木、島谷、岩本、中井、野口、入谷

議 題 ① 子ども虐待防止 寄付について → 承認

② アクション・チャンピオン専任の件について
→ 承認③ 第六回高松国際ピアノコンクール協賛の件について
→ 承認

ロータリー特別月間（10月）

地域社会の経済発展月間

(Community Economic Development Month)

2014 年 10 月 RI 理事会は、10 月を重点分野：「経済と地域社会の発展月間」とした。貧困地域の経済発展を目的とした、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

ロータリー学友参加推進週間

(Rotary Alumni Reconnect Week)

10 月 7 日を含む 1 週間（月～日曜日）は、ロータリー学友が地元のロータリークラブと活動したり交流を深めることを強調する週間である。世界ではボランティア活動や特別イベントを企画しているクラブが多くある。

米山月間

(Yoneyama Month)

10 月の米山月間は、日本独自の特別月間である。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をする。そのために米山奨学生や地区役員・委員の卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムを開催したりすることが推奨されている。

「インパクトをもたらそう青少年に夢を」



国際ロータリー第 2670 地区

2024-25 年度ガバナー 夏見 良宏

海外からの声に「日本には何でもある。無いのは夢と希望だ。」と揶揄されることがあります。責任の一端は、先を生きる私たちにもあります。

大谷翔平選手が、日本国内の全小学校に野球のグラブ約6万個を寄付することを発表しました。未来を担う子どもたちへの行動に世界中から称賛の声が寄せられている、というニュースを目にしました。その中で大谷選手は、「プレーする側としては夢を与えようと、元気を与えようとは全く考えていないので、そう受け取ってもらえればうれしかんと思って毎日頑張っています。」と、インタビューに答えていました。

私は、2024-2025 年度ガバナー方針を「インパクトをもたらそう 青少年に夢を」としました。世界は大変困難な時代にあります。だからこそ、今を生きる私たちは、この地球を守りながら、平和で、青少年が将来に夢や希望を持てるようなツールを提供する必要があります。ただ、そこには、夢を与えようとか、希望を与えようとかではなく、自然とそう受け取ってもらえるようなインパクトのある事業が必要です。

ミネリアル世代やZ世代に代表されるように若者は経済第一主義から、文化を大切に生きていく生き方、日々をエンjoyする生き方へとその価値観を変化させながら逞しく生きています。

国は、新学習指導要領の中で、「グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代、子供たちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。学校での学びを通じ、子供たちがそのような「生きる力」を育んでもらいたい。」としています。

子供たちは、社会の変化を見据えた新たな学びへと進化しているのです。

以上のことを踏まえ、2024-2025 年度 地区とクラブの共同目標及びガバナー方針を「インパクトをもたらそう 青少年に夢を」としました。各クラブには「青少年に夢を」を行動計画の基盤におき、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」という四つの優先事項の柱とした事業をお願い致します。

2670 地区全員の力で、次の世代が輝ける社会実現のために、ロータリアン、ロータリーファミリー、すべての皆さまのご協力を心からお願い申し上げます。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開
していますのでぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



次週のプログラム

第 2614 回

10 月 25 日

フォーラム：会員増強委員会

担 当 者 会員増強委員会

例 会 場 JRホテルクレメント高松